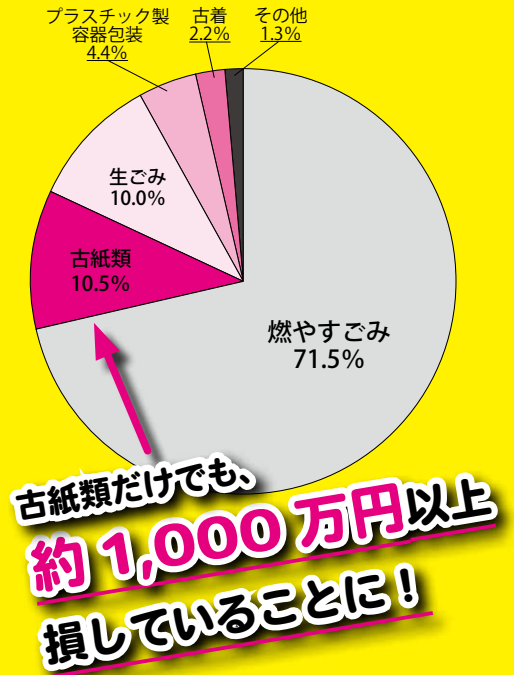


燃やすごみの袋の中を調べました。

調査の結果、燃やすごみの袋の中に、資源物として分別できるものが28.5%ありました。

もし、古紙類だけでもきちんと分別されていたら、年間焼却経費が約1,078万円節約できることとなります。引き続き分別へのご協力をお願いします。

品目	構成比%	
	本年度	昨年度との比較
燃やすごみ	71.5	11.1
古紙類	10.5	▲0.7
生ごみ	10.0	▲1.4
プラスチック製容器包装	4.4	▲6.7
古着	2.2	▲2.9
その他	1.3	0.6



小諸市衛生自治会 活動報告

小諸市衛生自治会 会長 鎌倉 恒文 氏

平成30年11月20日、市がごみの処理を委託している施設を小諸市衛生自治会正副理事と小諸市ごみ減量アドバイザーで視察研修を行い、両者で意見を交換しました。

飯山市にあるプラスチック製容器包装の再生工場では、小諸市も含め県内から集められたプラスチック製容器包装が「パレット」に生まれ変わっていました。中野市にある最終処分場では、リサイクルできない物（焼却灰、汚泥）を埋め立て、埋立地から出る水をきれいに処理してから川に放流しており、環境に配慮した処理が行われていました。浅麓環境施設組合では小諸市、御代田町、軽井沢町から排出される生ごみを有機物と混ぜて肥料（浅麓エココンポ）として市民に還元していました。

視察したすべての施設で資源が循環されていることを確認でき、ごみを出す際にきちんと分別することの大切さを学びました。これから私たちがやらなければならないことは、まずごみを出さない努力をすること。そしてリサイクルすることを考えたごみの出し方をすることだと考えます。

恒例!!

**『減ちゃんの
ごみ分別相談所』**

今回は、
スプレー缶に
ついてだよ。



小諸市ごみ減量キャラクター「減ちゃん」



カセットガスボンベ、スプレー缶

スプレー缶の廃棄方法について

カセットガスボンベやスプレー缶は、必ず中身を使い切って缶の青いコンテナに出してください。中身が残っているスプレー缶は市で収集や処理ができません。

※穴をあける必要はありません。

※ガス抜きをするときは、屋外の風通しの良いところで行ってください。

図 生活環境課 ごみ減量推進係